

柿園管理情報 第1号

令和5年3月17日

城端果樹協会

砺波農林振興センター

カイガラムシ防除について

春先の防除や粗皮削りは、カイガラムシの越冬数低下に有効です。

散布がまだな場合は以下を参考に早急に実施して下さい。

散布時期	対象病害虫	散布薬剤	使用倍率	100リットル当たり薬量
3月末まで	カイガラムシ	機械油乳剤95	20	5 ^{リットル}

※ 粗皮削りは機械油乳剤の散布前に行うと、より効果的です。

※ 石灰硫黄合剤との近接散布（10日以上あける）は行わないで下さい

※ 残った農薬や、洗浄薬は用水に流さないでください。

せん定枝処理について

せん定枝は野焼きせず、ウッドチップパー（せん定枝粉碎機）で粉碎処理して、柿園表面に薄く広げるか、積み上げて堆肥化させてから散布して下さい。

なお、紋羽病発生の恐れがあるので、堆肥化していないものは土壌中にすき込まないで下さい。